

定期作況報告

平成27年9月
(9月20日現在)

北海道立総合研究機構 北見農業試験場

1. 気象経過

8月下旬：最高気温、最低気温および平均気温はともに平年より極めて低かった。降水量は平年より少なかった（平年比34%）。日照時間は平年よりやや少なかった（平年比66%）。

9月上旬：最高気温は平年より低く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年より低かった。降水量は平年より少なかった（平年比54%）。日照時間は平年並であった（平年比82%）。

9月中旬：最高気温は平年より低く、最低気温は平年よりやや低く、平均気温は平年より低かった。降水量は平年より極めて多かった（平年比216%）。日照時間は平年並であった（平年比84%）。

以上のことから、この1か月間（8月下旬～9月中旬）は、気温は平年より低く、降水量は平年よりやや少なく、日照時間は平年よりやや少なかった。

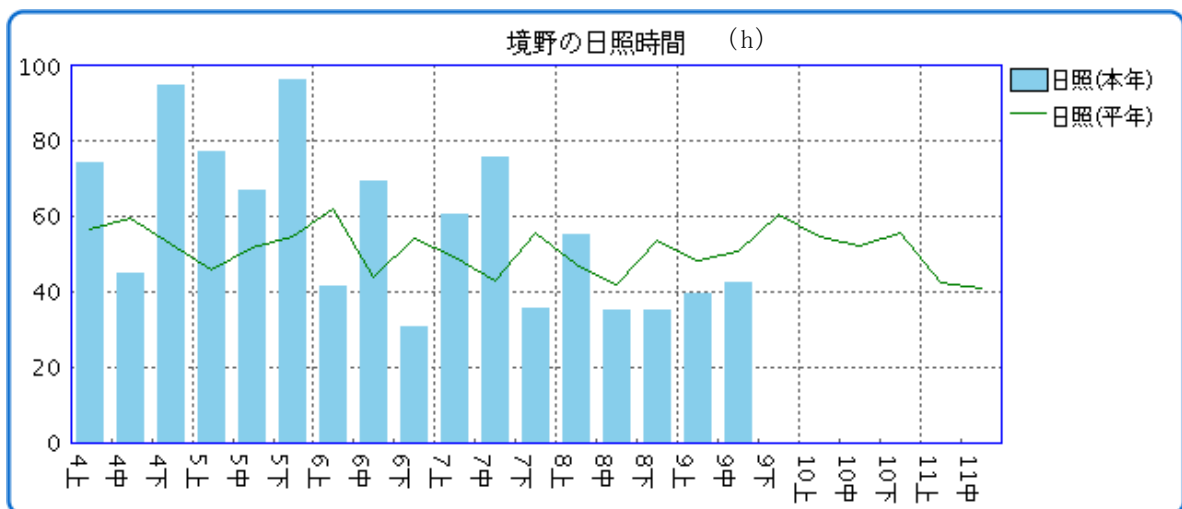
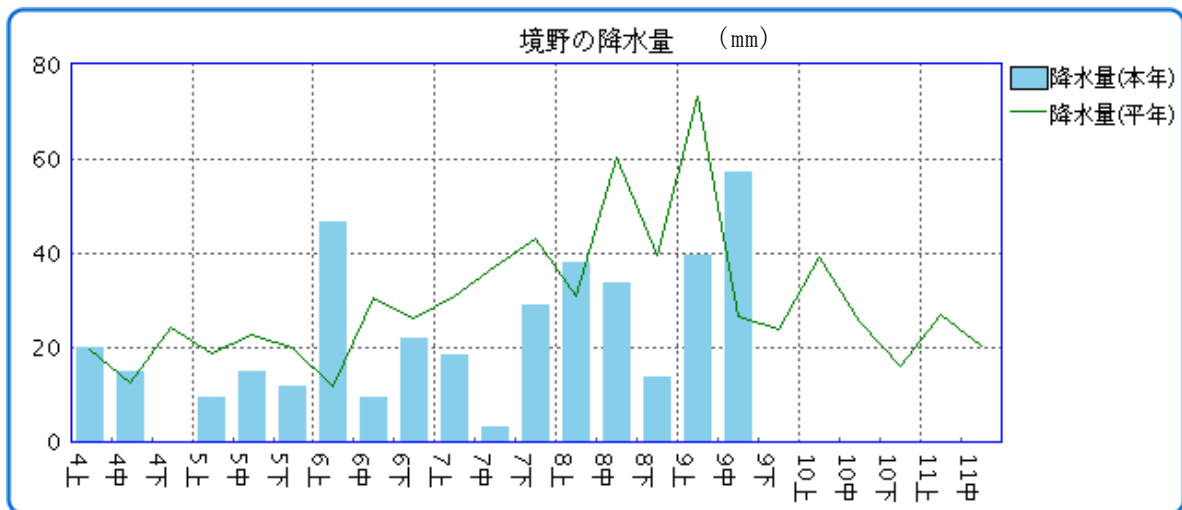
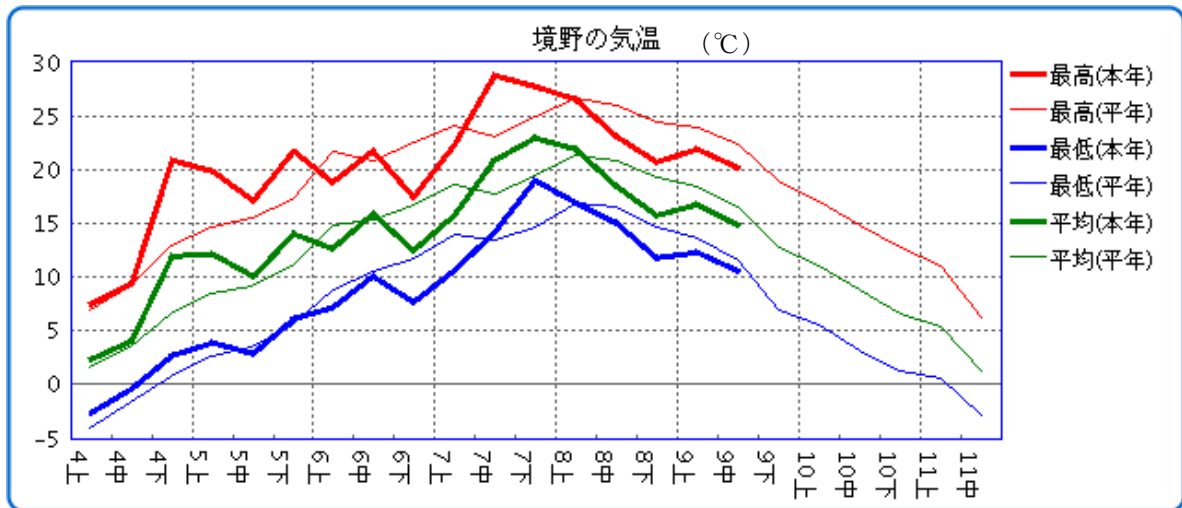
気 象 表

月 旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
8月 下旬	15.8	19.2	-3.4	20.7	24.5	-3.8	11.8	14.6	-2.8
9月 月上旬	16.7	18.5	-1.8	21.9	23.9	-2.0	12.2	13.7	-1.5
9月 月中旬	14.8	16.6	-1.8	20.2	22.3	-2.1	10.5	11.5	-1.0

月 旬	降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
8月 下旬	13.5	39.5	-26.0	35.3	53.7	-18.4
9月 月上旬	39.5	73.2	-33.7	39.6	48.1	-8.5
9月 月中旬	57.0	26.4	30.6	42.4	50.6	-8.2

注) 観測値は置戸町境野のアメダスデータである。

10年平均は前10か年間の平均値である。



2. 当場の作況

注) 本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、オホーツク管内全体を代表するものではありません。

1) 春まき小麦 作 況： 良

事 由：穂数が多く、登熟期間が平年より5日長かったことから、子実重は平年比121～122%と多収であった。リットル重は平年並で、千粒重は平年並からやや下回った。

以上のことから、目下の作況は「良」である。

調査項目	春よ恋			はるきらり		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
子実重 (kg/10a)	579	478	101	577	472	105
同上平年比 (%)	121	100	21	122	100	22
リットル重 (g)	814	805	9	814	809	5
千粒重 (g)	39.0	39.6	△ 0.6	40.1	42.5	△ 2.4

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、24年(最豊)を除く5か年の平均。

2) とうもろこし(サイレージ用) 作 況： 平年並

事 由：9月20日の稈長は平年並の271cmであった。本年の抽糸期は平年より3日早く、8月20日の草丈と葉数は平年並であったが(前報)、8月中旬以降の気温が全般に平年より低く推移したことから、登熟は平年並かやや遅れていると推測される。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	チベリウス		
	本年	平年	比較
稈長 (cm) (9月20日)	271	277	△6

注) 平年値は前7か年中、平成23年(最豊)、25年(最凶)を除く5か年の平均。

3) 大豆

作 況：平年並

事 由：茎葉は黄化し、登熟は進んでいる。主茎長、主茎節数、分枝数とも平年並であり、着莢数も概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	ユキホマレ		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)		9.25	
主茎長 (cm) (9月20日)	72.7	72.6	0.1
主茎節数(節) (9月20日)	11.5	11.3	0.2
分枝数(本/株) (9月20日)	5.0	5.4	△0.4
着莢数(莢/株) (9月20日)	64.7	68.4	△3.7

注) 平年値は前7か年中、平成21年(最凶)、23年(最豊)を除く5か年の平均。

4) 小豆

作 況：不良

事 由：この1か月間は低温に推移したため、登熟は平年よりかなり遅れており、「サホロショウズ」「エリモショウズ」とも9月20日現在、成熟期に達していない。蔓化により主茎長は平年を大きく上回っており、倒伏が著しい。このため、着莢数は平年を下回っている。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目	サホロショウズ			エリモショウズ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)		9.14			9.19	
主茎長 (cm) (9月20日)	108.2	84.6	23.6	96.7	70.0	26.7
主茎節数(節) (9月20日)	14.8	13.8	1.0	15.5	14.2	1.3
分枝数(本/株) (9月20日)	3.7	4.4	△0.7	3.6	4.1	△0.5
着莢数(莢/株) (9月20日)	48.9	61.7	△12.8	51.5	61.0	△9.5

注) 平年値は前7か年中、平成20年(最豊)、24年(最凶)を除く5か年の平均。

5) 菜豆

作況：平年並

事由：成熟期は平年より2日遅い9月5日であった。成熟期における草丈は平年を下回ったが、主茎節数、分枝数および着莢数は概ね平年並であった。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	大正金時		
	本年	平年	比較
成熟期 (月.日)	9.5	9.3	2
草丈(cm) (成熟期)	44.1	51.6	△7.5
主茎節数(節) (成熟期)	5.5	5.2	0.3
分枝数(本/株) (成熟期)	5.3	4.7	0.6
着莢数(莢/株) (成熟期)	22.5	20.0	2.5

注) 平年値は前7か年中、23年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5か年の平均。

6) ばれいしょ

作況：平年並

事由：「男爵薯」では、枯ちょう期は平年より1日早い8月31日であった。上いも重およびでん粉価は平年並であった。「コナフブキ」では、地上部の生育が進んでおり、黄変期に達している。このことから、地下部の生育はやや緩慢となり、上いも重は平年をやや上回っているものの、でん粉価は平年をやや下回り、でん粉重は平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	男爵薯			コナフブキ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
枯ちょう期 (月.日)	8.31	9.1	△1		10.6	
上いも重(kg/10a) (9月20日)	4496	4549	△53	4932	4725	207
でん粉価(%) (9月20日)	14.8	15.0	△0.2	21.0	22.0	△1.0
でん粉重(kg/10a) (9月20日)	—	—	—	985	980	5

注) 平年値は前7か年中、平成22年(最凶)、24(最豊)を除く5か年の平均

7) てんさい

作 況：平年並

事 由：8月下旬に気温が平年より極めて低くなり、その後も低温状況が続いているため、生育が鈍化し、根重は平年を下回った（移植2品種の平年比平均：89%）。一方、根中糖分は低温の影響を受け、順調に上昇し、平年をかなり上回っている（移植2品種の平年比平均：114%）。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	移植						直播		
	モノホマレ			アーベント			リッカ（参考）		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
草丈(cm) (9月20日)	60.8	62.4	△1.6	56.7	58.1	△1.4	64.8	61.6	3.2
生葉数 (枚) (9月20日)	30.1	29.9	0.2	29.2	29.8	△0.6	19.5	21.7	△2.2
茎葉重 (g/個体) (9月20日)	741	804	△63	754	864	△110	749	715	34
根重 (g/個体) (9月20日)	919	993	△74	891	1049	△158	818	926	△108
根周(cm) (9月20日)	33.9	34.8	△0.9	35.0	36.8	△1.8	31.2	34.1	△2.9
根中糖分 (%) (9月20日)	16.62	14.39	2.23	16.52	14.76	1.76	16.46	14.29	2.17

注1) 注平年値は前7か年中、平成26年（最豊）、22年（最凶）を除く5か年の平均。

注2) 直播「リッカ」は参考品種、平年値は前5か年の平均。

8) 牧 草（チモシー）

作 況：不良

事 由：3番草再生時（2番草刈取後25日目：9月1日）の草丈は平年並であったが、1、2番草の合計乾物収量は平年比87%と少なかった（前報）。

以上のことから、目下の作況は「不良」である。

調査項目		ノサップ		
		本年	平年	比較
草丈(cm)	3番草再生時	43	45	△2

注) 平年値は前7か年中、平成21年（最凶）、24年（最豊）を除く5か年の平均。

9) たまねぎ

作 況：平年並

事 由：両品種ともに枯葉期は概ね平年並であった。両品種ともに、総収量、規格内収量および平均一球重は概ね平年並である。

以上のことから、目下の作況は「平年並」である。

調査項目	改良オホーツク1号			スーパー北もみじ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
根切日 (月.日)	8.17	8.16	1	8.25	8.27	△2
枯葉期 (月.日)	8.23	8.21	2	8.31	8.30	1
収穫期 (月.日)	9.3	9.1	2	9.8	9.9	△1
総収量 (kg/10a)	7228	7161	67	6495	6063	432
規格内収量 (kg/10a)	5972	6312	△340	5623	5504	119
同上平年比 (%)	95	100	△5	102	100	2
規格内率 (%)	83	88	△5	87	91	△4
平均一球重 (g)	240	247	△7	211	212	△1

注) 平年値は前8か年中、平成19年(最豊)、20年(暴風雨被害により成績を参考扱いとしたもの)、25年(最凶)を除く5か年の平均。